

粟井地区タウンミーティングでいただいた意見等と市の回答

☆	項目	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	まちづくり	北条の素晴らしい自然、景観を全国発信するために、西谷から波妻まで遊歩道をつくってほしい。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>北条の素晴らしい自然を体感するには、遊歩道は有効な方策と考えられます。</p> <p>遊歩道の整備については、地元の方々に主体的に取り組んでいただきながら、行政として、最大限のお手伝いをさせていただきたいと考えています。</p> <p>また、風早レトロタウン構想において「情報発信」は、北条地域の持続的な発展に欠かせない項目であると認識しており、西谷や波妻など、北条の素晴らしい自然・景観について、今後、テレビ等の媒体を活用しながら情報発信していきたいと考えています。</p>	観光・国際交流課 久保田 麻矢 948-6557 坂の上の雲まちづくり担当部長付 西山 陽一郎 948-6991
2	まちづくり	北条にサイクリングロードを整備してほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>近年、環境や健康などの観点から、自転車が注目され、サイクリングロードの整備を望む意見も寄せられています。</p> <p>このような中、「しまなみ海道」をはじめ、愛媛全体がサイクリストの聖地となることを目指し、現在、愛媛県が中心となって「愛媛マルゴト自転車道」という構想を提唱しており、本市もこの取り組みに連携していくこととしています。</p> <p>北条地域の主要道路は、国道と県道が大部分を占めますので、道路を管理する国土交通省や愛媛県とも連携し、サイクリングロード</p>	総合交通課 遠藤 敬二郎 948-6846  観光・国際交流課 高橋 潤一郎 948-6557

				<p>の整備を進めたいと考えています。</p> <p>なお、平成25年度にはしまなみ海道で国際サイクリングプレ大会等を開催する予定です。</p>	
3	まちづくり	宅並山の案内標識を設置してほしい。	<p>■可能</p> <p><input type="checkbox"/>対応済</p> <p><input type="checkbox"/>即時対応(年度内)</p> <p>■次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>未定</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>案内看板の設置など地域の魅力を高める取り組みについては、地域の皆さんに主体的に取り組んでいただくことを前提に、「地域の宝みがきサポート事業」等の助成制度がありますので、詳細はご相談いただきたいと思います。また、助成制度については、このほかにも民間の金融機関等によるものもありますので、ご相談いただければご案内させていただきます。</p>	<p>市民参画まちづくり課</p> <p>古田 真樹</p> <p>948-6963</p>
4	環境・健康	歩きながらのゴミ拾いなどボランティア活動を健康のための運動と結びつけてはどうか。	<p>■可能</p> <p><input type="checkbox"/>対応済</p> <p>■即時対応(年度内)</p> <p><input type="checkbox"/>次年度以降</p> <p><input type="checkbox"/>未定</p> <p><input type="checkbox"/>不可能</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>本市では、ごみ拾いなどの美化活動を行うプチ美化活動の登録制度を設けています。登録されると、火バサミや軍手などを配付するとともに、その活動を市のホームページに掲載しています。</p> <p>また、平成24年11月には「わくわく健康応援まつり」でウォーキングと清掃活動を一緒に実施するなど、すでにウォーキングと清掃活動と結び付けている活動もあります。</p> <p>地域の皆さんの取り組みのなかでも、ウォーキングと清掃活動を結びつけていただきたいと思います。</p>	<p>環境事業推進課</p> <p>佐伯 文男</p> <p>948-6434</p> <p>健康づくり推進課</p> <p>篠森 紀子</p> <p>911-1814</p>
5	集会所	住民の交流を拡大するために集会所の有効活用を図りたいが、修繕等に対する支援をお願いしたい。	<p>■可能</p> <p>■対応済</p> <p><input type="checkbox"/>即時対応(年度内)</p>	<p>松山市所有のコミュニティ集会所は、一箇所20万円以上の修繕事業を対象に、事業費の2分の1を市が負担して修繕しています。</p>	<p>市民参画まちづくり課</p> <p>鍵山 直人</p> <p>948 - 6963</p>

			<input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他		
6	子育て支援	北条地域、粟井地区に児童館を建設してほしい。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市内には、中央児童センターをはじめ、7か所に児童館・児童センターを設置しています。</p> <p>児童館は、東西南北の各方面ごとに核となる施設を設け、近隣をカバーする形で整備しており、松山市全体で優先順位を総合的に検討していくうえで、北条地区も候補地の一つとして捉えています。現時点で具体的な整備計画はありませんが、今後、地域の均衡などを踏まえ、設置箇所を選定することとしています。</p> <p>なお、厳しい財政状況の中、児童館単独で新たに整備することは困難であり、既存施設の有効活用も視野に入れ、検討することとしています。</p>	<p>子育て支援課 重谷 治 948-6411</p>
7	子育て支援	遊びを通じて社会のルールを学ぶ子どもの遊び場を整備してほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>厳しい財政状況の中、新たな公園の整備は困難な状況ですが、遊具の更新など既存の公園のリフレッシュにあたっては、子どもさんにも参加していただくワークショップも開催するなど、地元の皆さんのご意見を反映しながら遊具の選定などを行っています。</p>	<p>公園緑地課 管 正人 948-6497</p>

8	高齢福祉	高齢化が進み孤独死が心配である。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>市では、独居高齢者や高齢者世帯などの孤立死を防ぐため、民間事業者のご協力をいただき、事業者等から市や社会福祉協議会へ通報があった場合は、民生・児童委員等と連携して訪問や安否確認などを行う、「松山市見守りネットワーク」の取り組みを始めており、高齢者の見守り機能の強化と充実に努めています。</p> <p>このほか、独居高齢者みまもり員制度や配食サービス、緊急通報装置の設置や電話による安否確認、乳酸菌飲料の配布時の安否の確認、地域福祉サービス事業など関係機関・団体と連携し、総合的に高齢者福祉サービス事業を推進しています。</p>	<p>保健福祉政策課 高岡 伸夫 948-6821</p> <p>高齢福祉課 渡部 通子 948-6408</p>
9	生活保護	生活保護の適正化について。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>現在、国が不正受給対策としてケースワーカーの調査権の強化など生活保護法の改正に向けて検討を進めており、その動向を把握しながら、速やかに調査を進め厳格に対応していきたいと考えています。</p> <p>また、本市では平成25年度からジェネリック医薬品の利用促進などを指導する専門員の雇用や民間事業者を活用した就労支援の強化など、国の補助制度を積極的に活用しながら更なる生活保護の適正化に取り組むことにしています。</p>	<p>生活福祉総務課 藤田 幸市 948-6397</p>
10	高齢福祉	包括支援センターはなぜ、下難波にあるのか。	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内)	<p>市内10か所の地域包括支援センターは、担当する地区をカバーできる場所に設置しています。</p>	<p>介護保険課 中矢 光一 948-6949</p>

			<input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>なお、地域包括支援センターは、相談者が来るのを待つのではなく、直接、高齢者宅などへ出向いて相談対応することを基本方針としていますので、遠慮なくご連絡ください。</p>	
11	高齢福祉	高齢者へのジェネリック医薬品の使用の啓発を徹底してほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>75歳以上の方が加入される愛媛県後期高齢者医療広域連合の取り組みとして、ジェネリック医薬品の希望カードの配布や、パンフレット等での普及啓発を行っています。</p> <p>さらに、平成24年度から、病院等で処方を受ける医薬品に対して、後発医薬品に切り替えた場合にどれだけの差額が出るかお知らせするジェネリック医薬品差額通知を新たに実施するなど、普及啓発に努めています。</p>	<p>高齢福祉課 首頭 哲 948-6941</p> <p>愛媛県後期高齢者医療広域連合 事業課医療給付係 911-7733</p>
12	まちづくり	フォークジャンボリーのような地域が元気になる仕組み仕掛け運用を行政と民間が一体となって継続することを検討してほしい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>地域が元気になる仕組みとしては、まず地域住民が主体となる必要があると考えています。今年度は、フォークジャンボリーだけでなく、駅前通りを会場とした「かざはや楽市」や「駅前夜店祭り」のほか、鹿島では「ビーチフラックス大会」「鹿島写生大会」などのイベントを地域住民が主体で企画・運営し、行政が支援しました。これらのイベントの中には、今後も継続的に地域住民が自主的に開催していく動きがあり、そうした事業に対して行政が支援していきたいと考えています。</p>	<p>坂の上の雲まちづくり担当部長付 西山 陽一郎 948-6991</p>
13	まちづくり	粟井地区を松山市のベッタウンにするため、住宅特区のようなものはできないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降	<p>本市では、将来の人口減少が予測されるものの、核家族化は一層進行しており、世帯数の増加に対する都市的土地利用の必要性は今後も高まると考えられます。しかしながら、</p>	<p>都市政策課 中村 寛 948-6462</p>

			<input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>愛媛県の松山広域都市計画区域マスタープランでは、市街化区域の線引きの堅持が打ち出されていることから、いわゆる線引きについては、今後も維持し、無秩序な市街地の拡大の防止と効率的な市街地整備を図っていきたいと考えています。</p> <p>従いまして、ご提案いただきました住宅特区、いわゆる市街化区域編入については、粟井地区についても、行う予定はありませんので、まずは、現在の市街化区域内の農地等を活用していただきたいと考えています。</p>	
14	防災	<p>防災としては、避難情報の連絡システムを考えなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の全戸への情報伝達をどのように進めているか。</li> <li>・FM放送と連携した個別の緊急告知放送システムの導入の考えはないか</li> </ul>	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>本市では平成 25 年度完成に向け、旧北条・旧松山市域でデジタル防災行政無線システムの整備を進めており、屋外拡声子局の整備だけでなく、屋内でも聴取可能な戸別受信機を、屋外拡声子局を有しないすべての避難所へ設置します。</p> <p>粟井地区でもシステムの整備中であり、今後運用開始に向けては、放送の聞こえ具合などの確認と調整を行います。</p> <p>新しいシステムでは、放送内容の確認ができるテレホンサービスを取り入れるなど、より多くの方法で災害情報をお伝えできるようにしています。</p> <p>また、災害時の臨時災害放送局等の開設及び、専用FMラジオに関しましては、現在情報収集を行うとともに地元FM局等との災害時支援協定締結等が可能かどうかの調整等行</p>	<p>危機管理担当部長付 中津 優 948-6795</p>

				うなど、新たな災害時の情報伝達システム構築に向けて調査検討しています。	
15	防災	<p>自主防災連合会の活動体制の強化を図ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元負担なしの助成制度にしてほしい。</li> <li>・自主防災会の中核となる人に消防団に準じた教育と待遇を考えてもらいたい。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>自主防災活性化モデル事業の地元負担金は、将来的に捻出が困難となる地区連合会が増加することも予想されますので、今後、検討したいと思います。</p> <p>自主防災組織に対する処遇について、消防団が特別職の公務員であることから、同様の取り扱いとすることはできませんが、自主防災レベルアップ研修会や防災講演会、防災研修会などにより資質の向上を図っており、今後も、こうした研修会等を通じ、地域の防災力の向上を図ります。</p>	<p>消防局警防課  金澤 英雄  926-9218</p>
16	保健	<p>医療費の適正化を図るため、健康都市宣言をしてほしい。</p>	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 即時対応(年度内) <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>本市では、「誇れる福祉・医療で笑顔に」を基本政策の一つとして、まちづくりをすすめており、現時点では健康都市宣言をする予定はありません。</p> <p>こうした中で、平成13年度に、生活習慣病等の予防に重点を置いたヘルスプロモーションプランを策定し、健康づくりのための社会整備等、市民・地域・行政が一体となって健康づくりの推進に取り組んでいます。</p>	<p>健康づくり推進課  篠森 紀子  911-1814</p>